

編集後記

編集中何度も原稿に目を通すたびに参加者それぞれの声や本会議の行程についてじっくり見入ってしまった。時間が経てば色あせてしまう思い出や当時考えていたことを文字にして残したこの報告書は、お世話になった方々へのご報告であると同時に、我々参加者にとっては、記憶をつなぎとめる重要な一冊になるだろう。現在、第63回日米学生会議に向けて新実行委員が必死に準備している中、この報告書を完成させることで私の実行委員としての任を終えることになると思うと、少し寂しくもあり、達成感のようなものもある。この感情は、全ての実行委員、参加者の協力で最後にひとつのものを創り上げた達成感であろう。この場を借りて、協力いただいた多くの方々にお礼を言いたい。

最後に、これまでに日米学生会議をご支援いただいたすべての方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。皆様にこの報告書をご一読いただき、日米学生会議へのご理解を深めていただければ幸いです。この報告書が、日米学生会議と支援者の皆様、そして未来の日米学生会議の参加者を結びつけるきっかけとなるような一冊になることを祈りながら、62冊目の報告書を世に送り出します。

第62回日米学生会議実行委員 高田 修太

2010年12月末日



第62回日米学生会議実行委員

発行

財団法人国際教育振興会

企画・編集

第62回日米学生会議実行委員会

〒160-0004 東京都新宿区四ツ谷1-21

<http://www.jasc-japan.com>

